

## 「研究者のために」

株式会社 シン・コーポレーション

代表取締役 松本 雅光 氏

施設：同志社大学連携型起業家育成施設 D-egg

### ◆ 起業家のプロフィール

岡山大学大学院修了後、石原産業で新規農薬の開発や色素増刊太陽電池の研究・開発にあたってきたが、1997年折からの不況下で全社的リストラの中、思うところあって研究職を辞し、テラメックスに入社。その後10年間、新規事業として高圧研究機器事業を主導・展開した。その間、石原産業で行っていた酸化チタン色素増刊太陽電池の研究により大阪大学で博士号を取得。高圧研究機器事業の知名度もそこそこになり研究者の信頼を得たところで、またしても事業撤退。一念発起し、2007年 同社より事業譲渡を受け独立。休日はボーイスカウトのリーダーとして活動、また時には片道20kmをロードレーサーで通勤する、アウトドア派。



### ◆ 起業の動機

「研究者のために」

高圧研究機器事業はテラメックスの河井常務(1996年当時)が京都大学・林力丸教授(当時)から「高圧研究機器を作ってくれる会社がないので困っている。手伝ってほしい」といわれたのが発端でした。昔は日本の大学にもマシンショップがあり、技官の方が装置を製作しておりましたが、それがなくなってしまいました。また、単品の研究機器を研究者の視点に立って設計し製作してくれる会社もなかなかありません。そこで「研究者支援ビジネス」として事業を開始したわけです。しかし2006年、社長交代とともに、事業構造の再編成のため事業撤退という判断が出ました。

特注の研究機器というのは注文時には図面しかなくて、ある意味では「できるかどうかわからないもの」です。そのなかで、御注文いただいてきた研究者の信頼を「会社の都合」で裏切ること、とても看過できないことでした。

「楽しい会社をつくる」

また、働くものが日々楽しさを感じることでできる会社を作りたいと思っていました。「楽しい会社」というのはどんな会社でしょうか？ 給料が高い会社でしょうか？ もちろん、「衣食足りて礼節を知る」ですから、ある程度の収入確保が重要課題であることには変わりはありません。でも最重要課題なのでしょうか？ 私は必ずしもそうではないと考えてます。一日の大半つまり人生の大半を過ごす

会社が、単に給料のために働く場所では寂しすぎます。たとえばお客様から感謝される、自分の成長を実感できる、あるいは言いたいことがいえる、等々どこに楽しさを見出すかは人それぞれですが、とにかく日々楽しく仕事ができる環境を整えることが重要だと考えています。社員あつての会社です。社員が楽しく仕事をしている＝活力がある そんな会社なら業績は後からついてくるのではないのでしょうか。

ちなみに研究者から「論文を共著に」とお申し出をいただくことがあります。そのとき必ず設計の永澤も入れていただくようお願いしています。ネットで検索すると出てくるんですよ。こんなこともやりがいにつながると思います。逆に言えばそれを面白いと感じる人と一緒に仕事がしたいですね。

#### ◆ 創業に当たって苦労したことおよびその克服について

事業としては 10 年間続けてきたことですから、やはり最大の問題はスムーズな業務移管でした。幸い会社(テラメックス)も私の思いを理解していただき、有利な条件で業務移管できました。なにより、お客様・加工業社様・代理店の皆さんに御理解いただき、あたたかい御支援をいただきましたので、何とか順調なスタートができたのではないかと考えています。しかし、なんとといっても私についてきてくれた永澤氏と共働き単身赴任までして家計を支えてくれている妻の理解があればこそですね。感謝しています。

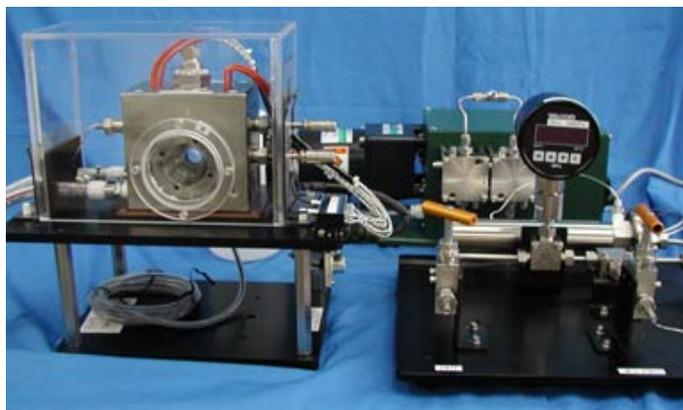
#### ◆ 会社の将来像

「共時性」

複雑系の科学では独立した事象の間に共時性が発現し、個々の事象の予測を超えた事象を発現することを「創発」といいます。1+1 が 2 とか 3 ではなくて A とか B になるようなことですね。これはだれかが主導するというのではなく、あくまで個々の判断による行動が全体としてみると特異な現象を発現することを言います。私たちは従業員・お客様・お取引先の自発的活動が共時性を発現し、創発的發展を遂げることを目指します。

特注研究機器というのは、テーマごとにその要求仕様が異なるわけですから、受注が増えれば開発課題も増えるというとても手間のかかる構造で、事業として成り立ちにくいのは事実です。現に我々も事業撤退を受けて創業したわけですし、後継者がなくて廃業するメーカーも続出しています。しかし、誰かが作らなければ研究が止まってしまうし、それが創業の動機でもあるわけですから、いかにして継続性のある事業構造を構築するかが課題です。

また、高圧研究機器は現在国内に競合メーカーがほとんどないのですが、逆に言えばそれだけ市場規模が小さいとも言えます。学会や若手研究者への支援を通じて高圧研究分野の裾野を広げる努力をしていきたいと考えています。何よりよい装置を作って研究成果を挙げていただくのが一番でしょう。もっとも市場が大きくなりすぎて参入が増えるのもこまりものですが・・・(笑)



超臨界炭酸ガス 中性子散乱測定システム



高圧ハンドポンプ

さらに、「高圧食品加工」。これは前述の林先生が提唱されたもので、現在、新潟県で産官学の大きなプロジェクトが進行中です。食品製造装置というと IHI や神戸製鋼など大手の分野で、とてもわれわれの手には負えません。でも、たとえば京都発の新たな食品文化を発信するといった視点でお手伝いができればと考えています。

#### ◆ BIで得たこと

やはり同じように創業期にある異業種の方々が周りにいるというのは得がたい環境だと思います。違った視点に出会うことで刺激になりますし、がんばっておられる姿を見るのは励みになります。ちょっとした同胞意識でしょうか。もっとも交流場所は「喫煙コーナー」です。その意味では喫煙というのも悪くないな・・・と (笑)。

実務的には、ここを紹介していただいた加工業者様がお向かいさんというのもありがたいですし、隣近所でちょっとした試薬や工具を貸し借りすることもあり、助かっています。

#### ◆ 企業概要

社名	株式会社シン・コーポレーション		
資本金	800 万円		
従業員	2 名 (他パートナー設計者 1 名)		
業務内容	研究者支援事業 研究機器特に高圧研究機器の企画・設計・製造・販売 スイス SITEC 社の高圧バルブ等 輸入販売		
住所	〒610-0332 京都府京田辺市興戸地藏谷 1 番地 D-egg 204 号室		
電話	0774-39-3701	FAX	0774-39-3702
E-mail	<a href="mailto:office@syn-c.com">office@syn-c.com</a>	URL	<a href="http://www.syn-c.com">http://www.syn-c.com</a>
代表	代表取締役 松本雅光		
設立	2007.7.4 資本金 800 万円		
沿革	2007.7.4 テラメックス㈱より高圧研究機器事業譲渡を受け、事業開始		

#### ◆ IM コメント

代表の松本氏は、入居者でお取引先でもある有限会社HOC様のご紹介により入居されました。同志社大学の上野教授とも古くから共同研究をしておられます。

通常、創業直後は販路や資金、優秀な人材の確保等に苦労することが多いのですが、松本氏は既にこれらの課題を解決されていて、理想的な形で事業運営をされているように感じます。

「高圧食品加工」の分野に興味をお持ちとのことなので、今後は各種研究開発事業の公募申請等において、ご協力をさせていただきたいと考えています。

インキュベーションマネージャー 山本 敬治

## 資料

### 会社概要

社名 株式会社シン・コーポレーション  
住所 〒610-0332 京都府京田辺市興戸地藏谷1番地 D-egg 204号室  
電話 0774-39-3701 FAX 0774-39-3702  
E-mail [office@syn-c.com](mailto:office@syn-c.com) URL <http://www.syn-c.com>  
代表 代表取締役 松本雅光  
設立 2007.7.4 資本金 800万円  
沿革 2007.7.4 テラメックス株式会社より高圧研究機器事業譲渡を受け、事業開始

### 業務内容

研究者支援事業  
研究機器特に高圧研究機器の企画・設計・製造・販売  
スイス SITEC 社の高圧バルブ等 輸入販売

### Syn とは

1. 「Synchronicity・Synchronize」 従業員・お客様・お取引先の自発的活動が共時性を発現し、創発的發展を遂げることを目指します。
2. 「Syndicate・Synergy」 従業員・お客様・お取引先との協調的發展を目指します。
3. 「Synthesize」 ものづくりを通じて科学の発展に寄与することを目指します。
4. 「清・真・心」 名誉を重んじ、誠実に真心を持って行動します。
5. 「親・信」 常にお客様の立場に立って考え、信頼を得るよう努力します。
6. 「新・真」 常に新たなことに挑戦し、真理の探究をお手伝いします。
7. 「心・親」 楽しく、やりがいのある職場を目指します。
8. 「深・SynC=シンク=Think」 深く考えます。

### 主要顧客（順不同）

東京大学、京都大学、大阪大学、北海道大学、東北大学、九州大学、同志社大学 ほか  
(独)理化学研究所、(独)産業総合研究所、(独)食品総合研究所、(独)海洋研究開発機構ほか

### 代表者プロフィール

松本雅光 1961.11 生まれ  
大阪大学工学部 博士課程修了 工学博士（専攻：有機化学・有機光化学・触媒化学）  
1985.4-1992.1 石原産業株式会社中央研究所にて新規薬・農薬創薬研究  
1992.1-1996.12 同所にて 色素増感酸化チタン太陽電池の研究  
1997.4-2007.5 テラメックス株式会社にて高圧研究機器開発・営業  
2007.7.4 シンコーポレーション設立